

2026年度 日軽物流株式会社 運輸安全マネジメントの取り組み

(期間：2026年4月1日～2027年3月31日)

○わが社の事故防止のための安全衛生方針

2026年度安全衛生方針を以下の通り定めております。
『安全と健康がすべてに優先する』

○社内への周知方法

- (1) 安全衛生方針は、全営業所で所員から見えやすい位置に掲示します。
- (2) 安全衛生方針は、全営業所が定期的開催する安全会議で、全所員に共有します。

○安全衛生方針に基づく目標（2026年度）

- (1) 交通事故発生総件数を前年度より削減します。特に、バック事故の発生防止に注力します。
自動車事故報告規則第二条に定められた事故の発生を0件に抑制します。
- (2) 運転者の健康状態に起因する交通事故の発生を0件に抑制します。
特に、睡眠時無呼吸症候群が起因する交通事故の発生を0件に抑止します。
- (3) 交通事故の当事者となった乗務員への安全教育を実施し、再発防止に努めます。

○目標達成のための計画（2026年度）

- (1) 安全教育計画：ドライブレコーダー等、画像を活用した危険予知訓練（KYT）を行います。
交通事故の当事者となった乗務員へ、早期に安全教育を行います。
- (2) 健康管理計画：健康診断で異常のあった乗務員に対して管理者等による面談指導を確実に実施します。
睡眠時無呼吸症候群に関する検査を計画的に実施します。
- (3) 安全車両投資計画：安全運転支援技術が導入された車両を積極的に導入します。

○わが社における安全に関する組織体制及び指揮命令系統

日軽物流株式会社安全管理規程第九条（社内組織）により定めています。

○わが社における安全に関する情報交換方法

- (1) 定期的に全営業所で安全会議を開催し、輸送の安全に関する意見交換を実施します。
- (2) 社内イントラ等を通じ、自社の車両が関係した交通事故情報を全営業所へ展開します。

○わが社の安全に関する反省事項

- (1) リスク運転検出機能付きドライブレコーダーにより検出された画像を活用した安全運転指導が不十分でした。
- (2) 交通事故の当事者となった乗務員に対する早期に行う教育制度等の見直しが不十分でした。
- (3) 営業所に対する運行管理監査において検出した指摘事項に関して、営業所が行った是正処置の定着確認が不十分でした。

○反省事項に対する改善方法

- (1) リスク運転として検出された画像を営業所の管理者及び該当乗務員が共有し、対面点呼などの機会を利用して安全運転に関する指導を実施していきます。
- (2) 社内規定を見直し、教育を早期に行える仕組みを再検討・構築し実行していきます。
- (3) 前年度の運行管理監査により指摘した事項に対する是正処置の定着状況については今年度の監査において確認します。

○わが社の安全に関する目標達成状況（2025年度）

- (1) 交通事故総件数の削減…『目標未達成』 ※動物との接触については除く。
2025年度車両事故発生件数41件（2024年度比+14件）、内バック事故発生件数14件（2024年度比+3件）

年度別	車両相互	単 独	人対車両	場 所 別	道 路	構内/駐車場
2025年度	8	33	0		21	20
2024年度	4	23	0		9	18

- (2) 2025年度中の自動車事故報告規則第二条に定められた事故発生件数0件…『目標達成』
- (3) 事故の当事者となった乗務員への安全教育は都度実施しました…『目標達成』 ※乗務員教育制度の見直しは継続します。

○輸送の安全に関わる情報の公表について

2025年度中に受けた行政処分はありません。

2026年4月1日
日軽物流株式会社

代表取締役社長

菅原 佳憲